

人文社会学部 経営学科

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下 CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら、教育内容の向上に取り組んでいます。

【教育方法】

建学の精神に則り、学生が社会や組織の中で主体的に活躍できる人材となることを目指し、「フレッシュセミナー」「アドバンスセミナー」を通じた少人数教育を4年間にわたり実施しています。教員と学生との距離が近く、学修指導のみならず、大学生活・進路などさまざまな課題に寄り添いながら、人格形成をサポートします。

また、経営学を基盤として、各コースの専門分野に応じた体系的なカリキュラムを配置し、専門的な知識・技能に加え、幅広い視野と判断力を育成します。講義、演習、実習、フィールドワーク等を通じて、理論と実践を結びつけながら学ぶ機会を提供しています。

資格取得や各種試験対策については、段階的な学修が可能となるよう支援体制を整備し、学生一人ひとりの目標達成を支援しています。また、キャリア教育やインターンシップ、地域連携活動等を通じて社会や仕事への理解を深めるとともに、主体的な進路選択と実践的な能力の育成を図っています。

【教育の特色ある工夫】

経営コース

- ・ 経営学を中心に、会計学、経済学などビジネスの基礎を学修し、専門分野では産業・金融・マーケティング等を中心とする実践的なカリキュラムを設置し、幅広く企業や組織で活躍できる人材の育成を目指しています。
- ・ 豊富な実務経験を有する教員と専門教員によるハイブリッド指導を通じて、理論と実社会を結び付ける実践的な学びを推進しています。
- ・ 専門分野以外でも、外国語教育や情報リテラシー等の社会人基礎に加え、リベラルアーツ教育を通じて幅広い知識と教養を身につけ、現代社会の様々な課題を論理的・客観的に考察し、適切に判断できる力を養います。
- ・ 少人数制のセミナー教育を重視し、1年次から段階的に、自律する力、課題を発見する力、課題を解決する力を育成するとともに、最終学年までに総合的な実践力の修得を目指します。
- ・ 3年次からはマネジメント研究（ゼミナール）に参加し、少人数で専門分野を深く学ぶことができます。その成果は4年次の卒業研究へとつながります。

- ・ ベトナムやオーストラリアをはじめとする海外インターンシップ・海外留学の機会を設け、国際的な視野と行動力を養います。
- ・ 卒業後を見据えて、キャリア教育やインターンシップを通じて、社会や仕事への理解を深めるとともに、主体的な進路選択と実践的な能力の育成を支援しています。

トレーナー・スポーツ経営コース

- ・ 経営学系科目や一般教養科目に加え、スポーツ医科学、トレーニング科学、スポーツマネジメント等を体系的に学修し、多様化するスポーツ・健康産業において活躍できる人材の育成を目指しています。
- ・ 様々なスポーツ・健康関連資格の認定校となっており、関連科目を体系的に配置することで、在学中に複数の資格取得を目指すことが可能です。
- ・ 1年次には人体の構造や機能、運動・健康に関する基礎知識を修得し、2・3年次ではトレーニング指導、コンディショニング、スポーツビジネスなどの専門的学修を深めます。最終学年では、培ってきた知識やコミュニケーション能力、倫理観を基にしたスポーツ・健康分野における課題解決の実践を目指します。
- ・ 放課後に開設されているリコンディショニングルームでは、実習生が教員指導のもと利用者（一般学生や教職員）の指導や運営全体を担当しており、実践力を育む場となっています。
- ・ 米国におけるアスレティックトレーニング教育を実際に体験するとともに、国際力を高めることを目的とし、毎年「デンバー研修」を実施しています。
- ・ 地域連携活動やボランティア活動、スポーツイベント運営への積極的な参画を通じて、社会人基礎力やコミュニケーション能力を育成しています。

経営情報コース

- ・ 情報通信技術（ICT）活用を通じ、社会の課題解決につなげる人材の育成を目指しています。
- ・ 経営情報に関する知識を幅広く体系的に修得し、業務上活用する能力の証明となる各種資格取得を奨励。段階的に、国家試験（「ITパスポート試験」・「基本情報技術者試験」等）や国際資格（Microsoft Office Specialist 等）の取得を目指すべく、複数科目を設置しています。
- ・ 専門科目として、1年次はプログラミングや統計的手法・数学的思考の基本的学修を目的とした科目を配置。2年次では自動化処理やインターネットの仕組み等を学修するほか、データ処理の実用的なスキル修得のための科目を配置しています。
- ・ 3年次では、プロフェッショナルに必要な技術修得とともに、実社会でのICT活用に向けて、各分野で専門性の高い教員による経営情報各論（A～G）を設置しています。
- ・ 卒業論文では、4年次生を担当教員の研究室に配属させ、研究方法及び論文作成・研究発表の指導を行っています。